

# 支援

心を込めた神楽フェスの裏側

神楽は、主役の神々だけでは成り立ちません。舞台を裏で支える大勢の人の力が必要です。神楽フェスも同様。多くの縁の下の力持ちが、催しを支えています。

もてなしの心が、来場者の皆さんに伝わればうれしい

筑地秀昭さん

**問** 神楽フェスの開催は、いつ知りましたか。  
**答** 今年に入り、委員の委嘱を受けて知りました。でもそれ以前から、本町で民族芸能に関する大きな催しを開催するというおぼろげなイメージは持っていました。  
**問** 神楽フェスの開催に、どんな期待を持っていますか。

**答** 国民体育祭の文化版ともいえる国文祭です。きつとたくさんの方が本町に訪れることと思います。来場者の皆さんをどのようにもてなすことができるか考えています。花を育てて会場周辺に飾ったり、この特色を生かした食事などを提供したり、周辺を美しく保つことなどを計画しています。これらおもてなしの気持ち、出演者や関係者の皆さんに伝わることを願っています。



その日神々が舞  
神楽フェスティバル  
神楽歓迎委員会委員長  
筑地秀昭さん

地域の伝統文化を「再認識する場」になれば

笹木秀明さん

**問** 来町した人たちにどんなところを見てほしいですか。  
**答** 本町には日本一（お茶）、日本唯一（アプト式鉄道）のものがたくさんあります。神楽フェスは、来町した皆さんに本町の良さを広く知ってもらう絶好の機会となります。同時に町民の皆さんにも、伝

統が息づくこの町のことを神楽を通して知ってほしいと思います。



神楽フェスティバル  
神楽企画委員会委員長  
笹木秀明さん

**問** 今回の神楽フェスでは、日ごろ地域で披露されている神楽と、全国各地の神楽とを比較できる良い機会です。比較することで改めて、この地域の伝統文化を再認識していただけたらと思っています。  
**答** また県外の人たちと町民の皆さんが交流するきっかけにもなるでしょう。ぜひ多くの

人にスタッフとしてかかわっていただき、一緒に催しを盛り上げていけたらと思います。  
**問** 神楽の監修をお願いしている八木洋行さんとは、川根高校時代の同級生だと聞きましたか。  
**答** はい。今回、神楽フェスを一緒につくり上げるという共通の目的を持つことができ、とてもうれしく思っています。どんな催しになるか、今からとても楽しみです。

## ◀大井川鐵道SLに神楽フェスヘッドマーク

大井川鐵道・国文祭川根本町実行委員会

国文祭川根本町実行委員会は7月11日、千頭駅構内で神楽フェス関連イベントとして、「SLヘッドマーク除幕式」を開催しました。この式典には、梅津神楽保存会が特別出演し、駅構内で「恵比須大國の舞」をSL乗降客に披露。同時に「神楽フェスティバル」をPRしました。ヘッドマークは直径80mmの円形で、梅津神楽「宇須売の舞」をデザインしたものです。杉山町長、原木千頭駅駅長らの手で除幕されました。このヘッドマークをつけたSLは神楽フェス当日まで、不定期で運行されます。



記念ヘッドマークを付けたSLと記念撮影

## 来場者歓迎プランターに花の苗植え作業▶

本川根中学校、本川根小学校

来場者を迎えるため、大鐵千頭駅から会場までの道路脇と、会場の周辺にマリーゴールドのプランターを並べます。7月15日、本中と本小では花の苗を植える活動を実施しました。午後1時半からそれぞれの学校で苗植えを開始。子どもたちは、もてなしの気持ちを込めて、丁寧に花の苗を植えていました。このプランターは、当日まで各学校で管理。子どもたちや先生の手で世話をしています。10月、会場の周辺にはきれいな花が咲き誇り、温かく来場者を迎える予定です。



花の世話をする本中生徒・苗植え作業中の本小児童

## 神楽フェスを食で支える。特産品を開発▶

奥大井ふるさと特産振興会

現在、神楽フェスの裏側では、「食」の面から催しを盛り上げていこうと、奥大井ふるさと特産振興会がフェス当日の販売に向け、特産品の開発を進めています。「神楽」に関係する、なるべく「地場産」にこだわった特色あるものにしようと、試行錯誤を重ねているところです。開発中の特産品は、神楽フェス期間中の限定販売となる予定です。ご来場の際には、ぜひ味わってみてください。どんな特産品かは、今のところ「秘密」です。当日会場での披露目を、皆さんお楽しみに。



どんな特産品になるかお楽しみにふるさと特産振興会

## 歓迎の心で、エコバック作成

すこやか大学の受講生と放課後子ども教室の参加児童が協力し、神楽フェスの来場者へもてなしの心を込め、エコバックを作成しています。

このエコバックは、紙袋に神楽フェスの案内を貼り、歓迎のことばを書き添えたり、切り絵を貼ったりして飾り付けたもの。元となる紙袋は、町民の皆さんのご厚意で寄せられたものです。当日は、来場者に渡すプログラム入れとして使用されます。



## ◀中川根南部小児童が、オープニングセレモニーで和楽器演奏

中川根南部小学校

「神楽フェス来場者を和楽器の演奏でもてなしたい」。そんな子どもたちの思いから、中川根南部小ではオープニングセレモニーで演奏する和楽器の練習をしています。今年度の始めから実施してきた練習も、現在半年を過ぎ、佳境に入ってきました。当日は5、6年生38人で、息の合った力強い演奏を披露したいと意気込んでいます。皆さんぜひ、聴きにきてください。

10月25日(日) 午後1時10分～25分(オープニングセレモニー)  
本川根小特設会場



当日に向けて練習に励む中川根南部小の児童たち